

ICT リテラシー (情報技術論) A

-- 第 01 回 : -- ガイダンス / 現代社会・経済における情報環境の位置付け -- --

栗野 俊一

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く
禁じます

2026/04/13 ICT リテラシー (情報技術論) A

伝言

私語は慎むように !!

□ 席は自由です

○ できるだけ前に詰めよう

□ 色々なお知らせについて

○ 栗野の Web Page に注意する事

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>

○ google で「kurino」で検索

<http://www.shun-ichi.kurino.net/kurino/>

諸注意

ICT リテラシー (情報技術論) A

諸注意

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く禁じます

諸注意：着席位置

- 着席位置は基本自由です
 - スクリーンが見えるように、できるだけ前に座りましょう
- 出席について
 - 出席は、出席管理アプリを利用します
 - ▶ この講義は「対面講義」である事に注意してください
 - 携帯電話に出席管理アプリをインストールしてください
 - ▶ 暫くは、「出席コード」を板書しますので、それを入力してください

Canvas LMS

ICT リテラシー (情報技術論) A

Canvas LMS

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く禁じます

Canvas LMS

□ Canvas LMS とは？

○ Instructure 社が提供する LMS (Learning Management System)

▶ 学習教材等をネットワークで共有する仕組み

○ 経済学部の LMS (乱立している...)

▶ Google Classroom

▶ WebClass : 前年度去年迄は、これを利用していた

▶ Canvas LMS : 今年度から利用

○ 日大で全学的に共通 LMS として導入

▶ <https://www.nihon-u.ac.jp/assets/20250214100025.pdf>

▶ 今後は、こちらに以降する可能性が高い

□ 利用法

○ Google の検索画面から九点リーダーの中に「Canvas LMS」がある

▶ URL: <https://nu.instructure.com/>

講義ページの説明

□ コースの情報構成

○ 1. WebPage : 資料 URL

- ▶ 基本、情報の更新はなし (外部ページへのリンク)

○ 2. ディスカッション(掲示板)

- ▶ 2.1 教員のみ(アナウンス専用)
- ▶ 2.2 情報交換

○ 3. 講義資料

- ▶ 3.x : x 回目の講義資料 (毎週増える)
- ▶ 3.x.1 その週の資料
- ▶ 3.x.2 その週のレポート(振り返り) [締切有り]
- ▶ 3.x.1 その週の小テスト(試験前まで公開)

今週(第 01 回)の予定

□ 今週(第 01 回)の予定

○ 自己紹介

- ▶ 栗野について

○ ガイダンス

- ▶ 講義内容の概要
- ▶ 講義の方針
- ▶ 成績の評価方針

○ 第 01 回目の講義

- ▶ 現代社会・経済における情報環境の位置付け

今週(第 01 回)の目標

□ 今週(第 01 回)の目標

○ 講義の内容を確認して、取得するかどうかを判断

- ▶ 内容が本当に必要だろうか
- ▶ 難易度はどうか

○ 担当者は合っているか

- ▶ 先生によって教え方が違う
- ▶ 異なる先生の科目を取るのもあり / 来年度だって取れる

○ 最初の講義を受けた感想は？

- ▶ 出席の取りかた
- ▶ 講義の進め方
- ▶ 課題の出しかた

今週 (第 01 回) の課題

□ 前回の課題

- 初日なので今回は無し

□ 今週 (第 01 回) の課題

- 第 01 回目の振り返り課題
 - ▶ 回答期限は、講義実施から 1 WEEK
- 第 01 回目の小テスト:メールマナー

講義担当者：「栗野俊一」について

ICT リテラシー (情報技術論) A

講義担当者：「栗野俊一」について

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く禁じます

講義担当者：「栗野俊一」について

□ 講義担当者

- 名前：栗野俊一 (くりの しゅんいち)
- e-mail : kurino.shunichi@nihon-u.ac.jp
- Web : <http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>
 - ▷ Google で「kurino shunichi」で検索すると良い
- Web : <http://www.shun-ichi.kurino.net/kurino/>
- 身分：日本大学 経済学部 教授

□ 来歴

- 2022 年の 3 月まで、日本大学 理工学部 数学科 所属
 - ▷ 経済学部に来て、五年目(今年度で定年)
 - ▷ やっと、経済学部の事が、判ってきて所だったのに... ??
- それまでは、ずっと「数学科(学部、大学院、教員)」だった
 - ▷なのに、専門は、「ソフトウェア工学」(そして、今や所属は経済学部)
 - ▷ バリバリの「理系」(理屈っぽい)
- 科目との関わり
 - ▷ 理工学部では、ずっと、情報関係の仕事をしていた
 - ▷ コンピュータを最初に触ったのは、45 年以上前から(大学1年の時)
 - ▷ 基本、プログラマで、システム管理者
 - ▷ ソフトウェアハウスでアルバイト/大学では情報関係の業務を担当

ガイダンス

ICT リテラシー (情報技術論) A

ガイダンス

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く禁じます

講義の方針

□ 講義の方針

○ 毎回：スライド資料を提示し、その解説を行う

▶ 対面講義：教室で、プロジェクタを利用（黒板は使わない）

▶ スライド資料は Web 公開 (Web Page は「kurino」で検索)

○ Zoom の利用

▶ 教室からリアルタイムで、zoom で配信する(視聴しても欠席扱いになる)

▶ zoom の情報は Canvas LMS を参照

○ Canvas LMS の利用

▶ Online 課題が毎回出題

□ 今週 (第 01 回) の資料

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/2026/20260413/20260413/20260413.html>

<http://www.shun-ichi.kurino.net/kurino/2026/20260413/20260413/20260413.html>

ガイダンス：科目について

□ 科目名：ICT リテラシー A (2022-入学), 情報技術論 前半 (-2021入学)

○カリキュラムが変わって名称変更されたが中身は同じ

□ 内容 (シラバス参照)

○目標 (2つ)

▶ IT技術について、正確な知識と情報化社会の常識を身につけること

▶ 情報技術を安全に応用するための基礎を修得すること

□ テキスト

○ 寺沢, 福田著, 入門情報処理-データサイエンス, AIを学ぶための基礎-

▶ 寺沢先生(本学部の教授)は、この科目の創設者

▶ 基本、テキストの内容に沿って講義する予定

成績について

□ 成績について (シラバス参照)

○ 授業期間試験 : 40

▶ 試験を行います

○ レポート : 30

▶ Canvas LMS の「振り返り課題」が、毎週出題されます

○ 小テスト : 20

▶ Canvas LMS の「小テスト」が、順次出題されます

○ 授業への参画度 : 10

▶ 出席は、出席管理アプリで取ります

□ 質疑/オフィスアワー

○ 質疑 : 基本は、Canvas LMS で、e-mail もあり

○ オフィスアワー : 月曜 4 限 (15:00-16:00)

▶ 事前に e-mail でアポを取ってください

▶ Zoom による面談 (随時) も可 (要アポ)

現代社会・経済における情報環境の位置付け

ICT リテラシー (情報技術論) A

現代社会・経済における情報環境の位置付け

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く禁じます

現代社会における情報環境

□ 現代社会における情報環境

○ 現代は「情報社会」

- ▶ 大量の情報が、素早く、簡単に入手できるようになった
- ▶ 携帯電話が放せない現代っ子：情報に舐れていないと不安を感じる

○ 他の人との情報格差を嫌う

- ▶ 隣りの人「より速く」情報を入手したい
- ▶ 自分だけが「知らない」事を嫌がる

□ 現代を生き抜くには..

○ 情報を「効率よく処理する能力」が必要となる

- ▶ 利益を得るためにも必要 (利得の確保)
- ▶ 不利益を被らないために必要 (安全の確保)

□ 情報処理を行うには

○ 正確な知識

○ 処理をするための技術 (情報器機 [携帯電話/PC/etc..] の活用技術)

IT とは

□ IT とは

○ "Information Technology" (情報技術) の事

▶ 『情報』を(上手に)扱う『技術』

□ ICT とは

○ "Information and Communication Technology" (情報通信技術) の事

▶ 『情報』は、『通信』によって得られる

▶ 『情報』を扱うは、『通信』を扱う (携帯電話世代)

□ IT は現代社会において必須の技術

○ IT の光と影 (良い事の裏には、悪い事も..)

○ IT 社会で自分を守るためには..

○ 適切な『知識』と『対応技術』を身に付ける必要がある

ICT リテラシー

ICT リテラシー (情報技術論) A

ICT リテラシー

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く禁じます

メールリテラシー

□メールリテラシー：メールを出す場合に気を付ける事

○原則：メールを受ける人の事を考える

- ▶このメールを受け取ったら相手はどう思うだろうか？
- ▶自分の観点だけでなく、「相手の観点」が必要

○特徴：メールは電子媒体

- ▶何時までも記録に残る（いまのインターネットサービス共通）
- ▶ニュアンスを伝えるのは難しい（cf. 手紙[筆跡]/会話[声色]/表情）
- ▶中継されるので、「覗き見」される可能性がある

□基本的なマナー（とりあえず、守っておけば失敗しない）

○自分の氏名や所属を本文に明記する

- ▶受け取った人が、「誰からきたのか」が解らないと困る

○相手の氏名や所属を本文に明記する

- ▶受け取った人が、「自分宛なのかどうか」が解らないと困る

○大きな添付ファイルは送らない

○読めない文字を使わない

- ▶機種依存文字：「文字化け」の原因になる

□メールを送信する前に、見直しと推敲を！！

SNS リテラシー

□ SNS リテラシー

- 原則：(メールと同様) メッセージを受ける人の気持ちを考える
 - ▶ 不快に感じさせたり、目をしかめるような内容はダメ
- 特徴：SNS メッセージは「拡散」される可能性がある
 - ▶ 多くの人の目に止る(価値感が多様である事に注意)
 - ▶ 陰口のつもりが、本人の耳に届く可能性がある

□ 基本的なマナー

- 反社会的・非社会的発言をしてはならない
 - ▶ 未成年者の飲酒,喫煙について
 - ▶ 危険薬物について
 - ▶ 自転車,自動車走行中の携帯利用について
 - ▶ バイト先の守秘義務の無視について
 - ▶ バイトの就業時間中の携帯利用について
 - ▶ 著名人のみならず他人の目撃情報などプライバシーの侵害について
 - ▶ カンニングや代返(または代返相当行為)について
 - ▶ レポートのコピペについて
 - ▶ 授業のサボタージュについて
 - ▶ 部活動中の悪ふざけについて
 - ▶ 映画,番組,ゲームのネタばらしについて

個人で気を付けること

□ 個人で気を付けること

○ メール

- ▶ 身元不明メールを開かない
- ▶ 添付ファイル リンクをクリックしない

○ Web Page

- ▶ 安全性の低いサイトにはアクセスしない

○ WiFi

- ▶ セキュリティ保護のないアクセスポイントでは際どい情報は入力しない

○ コンピュータウイルス

- ▶ ウィルス対策ソフトを導入する
- ▶ パターンファイルを常に更新する

○ ソフトの更新 (セキュリティパッチ)

- ▶ OS メールソフト ブラウザ ドライバを最新状態にする

○ ダウンロード

- ▶ インターネット USB メモリなどからのダウンロード時にウイルスチェックする

○ パスワード

- ▶ 重要サイトでは使い回しを避ける

○ 個人情報

- ▶ 個人情報の無闇な露出はさける

個人情報

ICT リテラシー (情報技術論) A

個人情報

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く禁じます

個人情報

□ 個人情報とは

- 生存する個人に関する情報で,特定の個人を識別することができるもの
 - ▷ 氏名,年齢,性別,電話,学歴,職業,
- プライバシーに関わる事実が,集積・蓄積され,保管・管理されるもの
 - ▷ 食事,生活習慣,衣服,

□ OECD8 (8つの原則)

- 収集制限の原則：同意の上での収集
- データ内容の原則：利用目的に合う最新内容
- 目的明確化の原則：収集前の利用目的伝達
- 利用制限の原則：目的以外の利用禁止
- 安全保護の原則：不正アクセス,改ざん防止
- 公開の原則：管理内容,問合せ先の公開
- 個人参加の原則：対象者による消去,修正の権利
- 責任の原則：原則実現に関する責任

おしまい

ICT リテラシー (情報技術論) A

おしまい

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く禁じます